



▲ 同和問題に正しい認識を (研修会風景)

個人の尊厳を保障し、人権を尊重することは、わが国の社会制度の基本であります。民主化、近代化の進んだ現在のわが国において、市民的権利と自由が完全に保障されていない人々がお存在することは、まことに遺憾なことです。このような意味で、同和問題はわが国の重大な社会問題であります。県ではこの問題の一日も早い解決のため、同和対策事業特別措置法の趣旨にのっとり、効果的、総合的な施策を積極的に進めています。

★生活環境の改善に関する事業……………一億七千九百四十三万円

対象地域における生活環境の改善を図るため、公営住宅の建設、住宅地区の改良、住宅新築資金等貸付、道路、橋りょう、下水排水路、水道、墓地移転、街灯等の整備及び消防施設等の整備事業を行います。

★社会福祉の向上及び健康の増進に関する事業……………六千九百六十七万円

対象地域における社会福祉の充実及び健康の増進を図るため、老人集会場設置整備ほか老人対策、在宅重度障害者訪問診査、身体障害者巡回相談、世帯更生資金等の貸付、児童福祉施設整備、保育対策、隣保館の運営費補助等の事業及び巡回保健相談、胃ガン、子宮ガン検診、妊婦及び乳児の健康診査、食生活改善等の事業を行います。

★農林漁業の振興に関する事業……………五億千五百四十四万円

対象地域における農林漁業の振興を図るため、農林業生産基盤整備、農林業近代化施設整備、農業経営確立研究指導、農業近代化資金助成等の事業を行います。

★中小企業の振興に関する事業……………十三億二千六百九十六万円

対象地域における中小企業の振興を図るため、中小企業安定資金融資、中小企業組織化、診断指導、小規模事業対策指導等の事業を行います。

★雇用促進及び職業の安定に関する事業……………五千三百七十七万円

対象地域住民の雇用の促進及び職業の安定を図るため、新規学校卒業者就職助成、職業訓練受講の奨励、自動車運転委託訓練、各種学校奨学金補助、企業誘致等の事業を行います。

★学校教育及び社会教育の充実に関する事業……………一億七千二百四十七万円

対象地域の住民に対する学校教育及び社会教育の充実を図るため、高等学校等進学奨励金交付、同和教育推進、社会同和教育推進、集会所施設整備、スポーツ振興及び県民に対する諸研修会等の事業を行います。

学校教育の拡充

学校教育の振興につきましては、人間性豊かな、心身ともに健全な児童・生徒の育成を旨として、教育機会の拡充、教職員の資質の向上および学校施設、設備の内容充実等、教育条件の整備を図ります。

本年度は特に勤労青少年の教育の充実を図るため、熊本市に定時制・通信制の独立校を建設します。また、心身障害児を対象とした養護学

校の整備にも重点をおき、来年度からの義務制に対処することとしております。

★高等学校の施設・設備の充実……………五十四億八千三百八十七万円

昭和五十四年度の開校を旨として、八代地区新設高校および定通独立校の校舎等の新築を行います。校舎改築については、本年度から小国高校ほか二校の整備を図るとともに、熊

● 教育文化の振興



▲ 年々充実する高等学校施設 (熊本西校)

本工業高校等四校の改築を継続して行います。

また、産業教育の振興をはかるため、昨年度に引き続き施設・設備の整備に努め、進展する社会に対応するよう教育内容の充実を図ることにします。

★特殊教育諸学校の整備……………五億五千二百二十五万円

昭和五十四年度からの養護学校教育の義務制実施を来年度にひかえ、若北養護学校をこの四月に開校します。さらに玉名・鹿本地区新設養護学校の校舎を建設することとしました。

また、菊池養護学校ほか二校の学級増設等に必要な校舎の増築を行います。

★教職員研修の充実……………七億四千二百二十三万円

幼稚園を含めた新規採用教員及び、職経験五年程度の教員の研修を中心に、各種の研修を更に充実し、教職員の資質と指導力の向上を図ることにします。

★県立学校運営費……………十二億三千五百九十九万円

教育内容の充実につとめるとともに、学校運営の円滑化を図ることにしています。

★教職員の第三次給与改善……………八億五千四百五十六万円

教育界にすぐれた人材を確保し、教育活動の質的向上や、教員の経済的地位の向上をはかり、より豊かな学校教育が行われるようにします。

★給食用物資購入資金貸付……………二千万円

国、県の貸与による物資購入資金を設け、質のよい学校給食用物資を計画的、合理的に確保し、学校給食の食事内容の向上と父母負担の軽減を図ります。

★学校給食用果汁、牛乳等補助……………四億千四百六十四万円

学校給食に本県産の新鮮なみかん果汁、牛乳をとり入れ、魅力ある食事内容にするるとともに、児童生徒の体位向上と、あわせて父母負担の軽減を図ります。

★熊本女子大学の建設……………十二億七千七百三十三万円

昭和五十四年度までの二カ年事業で総工費二十六億円をもって大学の移転新築事業を実施します。

★私学振興父母負担の軽減……………二十五億三千九百六十六万円

人件費、教育費等の経常費補助及び私学振興関係団体に対する助成の充実強化を図ります。